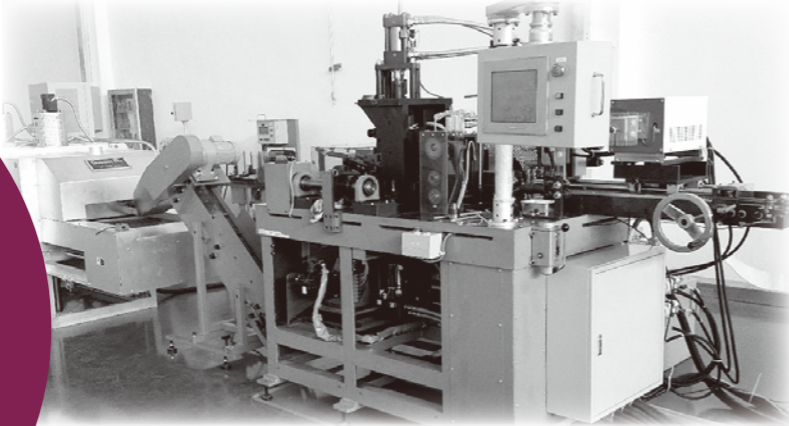


町長の  
まち・ひと・しごと  
魅力発信  
～ 事業所訪問 vol.19 ～  
**「株式会社  
木村機械製作所」**  
町内には、優れた技術を持った会社が多く  
存在します。事業所の持つ技術や  
魅力を町長自ら訪問して、目で見て、  
お話を伺い、住民に情報発信する  
「事業所訪問」を  
連載します。



リクライナー用渦巻きバネ専用機(特許取得)

のいく機材がない中、知恵を絞って直さなければ戦えない。それには工夫していかなければならなかった」という先代の第二次世界大戦時の体験と教えが“軸”となり、この小鹿野の土地の社員と共に勉強しながら技術やノウハウが受け継がれていき、さらに現在の社員へと繋がっていますと語るお二人の言葉に熱い思いを感じました。信頼と実績、誠実な仕事への姿勢が親子三代に亘って歴史を支えてきた証であると強く思う企業でした。

**わが社の主力製品**

当社の渦巻きばね製品は輸出向け70%(ヨーロッパ50%、東南アジア20%)、国内向け30%を出荷しており、そのうち大手自動車メーカーは72%を占めております。渦巻きばねの加工機と加工する工法は1981年及び200



主力製品の渦巻きばね

**ここに自信あり**

渦巻きばねの機械装置は自社で開発しているため、品質管理、検査における、全品検査において、渦巻きばね製品の“クレーンゼロ”という実績が大手自動車メーカーからの信頼を受け、多数注文を受けております。全品検査は±5%というほぼバラツキのない数値で同業他社には出来ない管理のもと、安心安全、良質なものを提供しております。



木村社長(左)と木村副社長(右)

**会社概要**

代表者 代表取締役社長 木村誠司  
従業員数 8名  
創業 1957年  
所在地 本社:川口市中青木4-3-23  
秩父事業所:小鹿野町下小鹿野3330  
電話 0494-75-1110

**町長の見て・聞いて・話して**

第19回の事業所訪問は、8月6日に株式会社木村機械製作所を訪問し、木村誠司社長と木村昭彦副社長にお話を伺いました。

株式会社木村機械製作所は、昭和32年(1957年)に川口市で機械メーカーとして創立し、昭和48年(1973年)に現所在地に秩父・小鹿野工場を建設されました。

1960年から1990年代までは、コイリングマシン、フォーミングマシンの設計、製造、販売を主力とされてきましたが、2002年に業態転換に着手し、機械メーカーから渦巻きばね製造へと転換され、大きな販売成果を得られたそうです。

渦巻きばねは主に自動車の座席シートや映画館、スタジアム等の背もたれの可動域を維持する部分にあたるため、安全安心への配慮が欠かせない製品とのことでした。

自動化にシステム整備された工場内では、ベテランと若手の共同作業のもと、1日2万個もの渦巻きばねが生産されています。

自社開発の機械で製造、全品検査の一貫体制の強いポリシーのもと、他社との差をつける努力を惜しまない姿勢が、同社の強みとなっているように感じました。

『小型戦車のメンテナンスをしていたが、手元には満足



ばね加工機の説明を受ける森町長



第10回 移住相談員・本協力隊員の  
移住者インタビュー

皆さん、「アイシングクッキー」をご存知でしょうか?砂糖と卵白で作ったクリームでクッキーをデコレーションしたもののようですが、昨年9月にUターンした坂本眞子さんは、アイシングクッキーの職人さんです。手間と時間がかかるクッキーだけに価格も高めですが、眞子さんの作るクッキーはとても可愛く人気があります。改装したての3畳くらいの店舗にて、お話を伺いました。



**ーアイシングクッキーとの出会いを教えてください。**

製菓の専門学校を卒業後、菓子職人を経て、神奈川のスペインバルでホール主任として働いている時にお世話になった店長さんの結婚式で、席札とプチギフトを組み合わせた何かを作れないかと相談を受けたのがキッカケです。色々調べてアイシングクッキーを知り…作ってみたら、大好評!嬉しくてもっと知りたと思いました!

**ーそれがお仕事に繋がったんですね! Uターン後、どのように始めたのでしょうか?**

現在TAKIBIYAでキャンプ用品を販売している父と「お互い、なんか新しいことやってみようか」と話していたのが始まりです。最初は、カトウヤ洋品店さんに声をかけていただき、10月のおがのライダー宿にてアイシングクッキーを知ってもらうためお配りしました!このイベントがきっかけで郷土芸能祭にもお声がけいただきました!さらにそれがきっかけで、今年1月、尾ノ内氷柱の売店でよいよ販売を開始しました。その時は、実際に自分で販売してお客様の声を間近で聞くことができ、いい経験となりました。地元の皆さんにとっても感謝しています!

**ー地域との繋がりの中で広がっているんですね。小鹿野だからやりやすかったことはありますか?**

人との距離が近く親しみやすいところが好きです。お店を開くときも「クッキー屋さんを始めたので会いに来てね!」と声をかけさせていただいています。今年の春まつりでは、子どもの頃からお世話になっているご近所の中野酒店さんで委託販売させていただきました!アイデアを出し合って、4耕地のクッキーを作ったところ、皆さんに喜んでいただいて最高の春祭りに

なりました!!

**ー今のやりがいを教えてください。**

今現在、オンライン受注と月に1、2度の店舗販売が半々くらいですが、地元の人と触れあえる店頭販売がとても楽しいので回数を増やしていきたいと考えています。私が作ったクッキーでさりげない日常もHAPPYな気持ちで過ごしてもらえたらな～と思います!自分がデザインしたものとお客様の求めていたものがマッチすればすごく嬉しいし、意外とイケそうと思ったものが売れなかつたりするのも楽しみの1つであります(笑)。店舗販売の時は、気軽に食べられる焼き菓子もご用意していますので散歩のついでにでも、ぜひ気軽にお店に来てください!

**MA.Cookie 小鹿野店**

住所:小鹿野町小鹿野1837-2の前  
10月のスケジュール:instagramをご覧ください。  
アカウント名「ma.cookie0305」

取材の合間、お客さんと眞子さんの会話が盛り上がる場面に、何度も立ち合いました。事業をするうえで、ご実家の支えがあることはもちろんプラスですが、眞子さんの場合、それ以上に、たくさんの地域の支えをパワーに変えられる前向きさが一番の成功要因ではないかと感じました。新しいことを始める際は、1ターンもUターンも地域住民も関係なく、まず小さくても1歩踏み出す姿勢が大切なのかもしれません。大変、勉強になりました。

地域おこし協力隊 本奈代子

問合せ ● 小鹿野庁舎・総合政策課 ☎ 75-1238